



2008/09 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2210 回例会 2009 年 4 月 1 日(水) SAA / 澤井会員 会報担当 / 山本会員

例会会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535



点 鐘 市原 RC 会長 藤谷泰弘
 ソング 奉仕の理想
 お客様 「鶴舞藩を知る会」事務局 塚原茂様
 会長挨拶 市原 RC 会長 藤谷泰弘



皆さんこんにちは。本日卓話をいただきます塚原様、お出で頂きありがとうございます。今日は、塚原様にお願いをいたしまして市原の偉人についてお話をいただきます。塚原様には、予定の日を急遽変更しての卓話です。にもかかわらず予定を調整していただきありがとうございます。後ほど、卓話をお願い致します。

次に、幹事報告を致します。プログラムの件、4 月プログラム大幅に変更しています。ご承知下さい。5 月プログラムは例会 3 回のうち 2 回が移動例会です。1 回は市原中央さんとの合同例会ゲスト水前寺清子さん。もう 1 回が伊勢方面への 1 泊 2 日の旅行です。(2 年前行った) 改めてお知らせ致しますが、予定していただきたくお願いします。

委員会報告

- ・ 始関会員より、会計の中間報告
- ・ 小池社会奉仕小委員長より



インターアクトクラブが活動しているエコキャップ回収への協力依頼。回収箱を用意しましたので、例会時にペットボトルのキャップをお持ち下さい。

結婚・誕生祝い

結婚：三木会員、南山会員、佐藤(政)会員、津留会員
 小川会員、斉藤(栄)会員、宮地会員、平野会員
 誕生：南山会員、深川会員、蔵内会員、高野会員
 篠田会員

卓話



講師紹介 (川島会員)

塚原さんは市原の歴史研究の第一人者です。「鶴舞藩を知る会」を運営しながら、講演会等で活躍されています。



塚原茂様

『鶴舞が生んだ日本点字の父 石川倉次』

石川倉次は、安政 6 年(1859 年)浜松で生まれた。明治 2 年、浜松藩藩主の国替により、父が家臣であったため、倉次一家も鶴舞へ移り住むようになる。

〔鶴舞は、明治維新後の徳川慶喜の駿府移封に伴う動きの中で、遠州浜松藩が千葉県の上総に明治元年(1868)転封されたことによって始まり、明治 3 年に鶴舞藩が誕生したと記されている。それ以前の鶴舞の地は、桐木原と呼ばれ 7 軒ほどの家が散在した寂しい場所であった。浜松からどの位の人達が鶴舞に移り住ん

できたのかよく分からないが、築城すべくお堀や武家用の宅地造成が行われた。現在の鶴舞小学校には城跡も残っている。それも明治4年には廃藩置県によって終わり、藩主井上河内守正直は東京に移住してしまう。実質的には正味何年でもなかったが、家老、伏谷如水は藩主が東京に移り住んでからも鶴舞の地(池和田村)に残り、地域発展のために尽力した。]

当時、倉次は10歳。勉強に励み、鶴舞小を主席で卒業すると、17歳で小学校の教員となる。その後、県内のいくつかの小学校に勤務するが、国語の研究会で小西信八と知り合う。小西信八は東京聾啞学院(視覚・聴覚障害者の為の官立学校)の教師であったが、倉次に一緒に働いてほしいと懇願され、一度は断ったものの、東京聾啞学院へ行くこととなった。

当時、小西は、視覚障害者への教育に用いられていた文字の改善に苦慮していた。当時の視覚障害者用の文字は、通常の漢字・かなをそのまま凸文字、あるいは針文字(小さな穴のつながりで文字を表したもの)にしたもので、障害者が文字を書き記すためには大変不都合だった。そこで、フランスのルイ・ブライユが考案した6点(縦3点×横2列)の点字をもとに、日本のかなに適合した点字をつくりだすよう倉次に依頼した。

倉次は点字の研究に夢中になったあまり、妻のお産をすっかり忘れていて、隣室からの産声を聞いて、初めて出産に気付いたこともあったという。しかもわが子に点字を表す「ポイント」や「ポツ」といった名前を付けようとしたという逸話も伝わっている。

倉次の点字研究はたゆまずに続けられ、到達した結論はブライユ点字とは異なる五十音配列を持つ6字点字であった。明治23年(1890年)、4回にわたって開かれた選定会の末、倉次の案が支持され、日本点字として採用が決定した。

倉次はその後も点字の普及活動に力を注ぎ、やがて日本点字は全国に普及し、明治34年には国から正式に認められることとなった。倉次はまた、点字を表記するための「点字器」や携帯可能な「懐中点字器」、「点字タイプライター」を開発。これらにより、目の不自由な人はいつでもどこでも文字を記すことができるようになった。倉次は、昭和19年、疎開先の群馬で86歳の人生を全うした。

鶴舞藩校「克明館」跡地の鶴舞公民館には石川倉次の胸像が建てられている。

ニコニコ・ソーリーボックス

藤谷会長

塚本さん、本日は卓話ありがとうございました。

山崎会員

西行の「山家集」を思い出す頃になりました。皆さん、アヅマグループの記念行事として臨海公園に植樹した「ソメイヨシノ 88本」、世界的有名な彫刻家、シングウ ススム氏に依頼しました作品「風の記憶」それぞれが、風にそよぐ季節と成りました。桜も今週末から来週の例会頃が見頃と成りそうです。ぜひお出まし戴ければと思います。

上條会員

本社事務所を蘇我へ移転しました。お近くにお越しの折はお立寄り下さい。

小池会員

NPO法人 上総更級会の理事、塚原茂様のお話に感謝して。

小池会員

エコキャップの収集の成果を期待して。

小池会員

過日、右目の白内障の手術を斉藤眼科さんでして頂きました。少年期のように見えようになり、趣味に興じられるとうれしく思っています。

始関会員

3/23 袖ヶ浦クラブとのゴルフコンペで初めて優勝しました。当日は成田空港で飛行機が落ちたり、方々の交通機関が止まるなど異変の特異日だったようです。

市原RCゴルフ参加者一同

3月23日に袖ヶ浦RCとの合同例会にて行われたゴルフコンペにおいて、団体、個人共に優勝しました。賞金をニコニコします。

出席報告

前々回確定：71.4% 本日出席：35名

本日欠席：14名 本日出席率：71.4%